湖頭

令　和　４　年　12　月　１　日
富　士　市　立　須　津　小　学　校
学　校　だ　よ　り　（12 月号）

祝　創立 150 周年

校長　望月　秀一

　今日から師走。令和４年も一か月となりました。新型コロナウイルスの感染者が少しずつ増えてきていると言われていますが、保護者や地域の皆様のご理解とご協力のおかげで、ここまで、止めることなく教育活動が行うことができています。ありがとうございます。

　11 月１日は、本校の創立 150 周年記念日（本来ですと８月１日が開校になります。）として、**『すどっ子カーニバル（児童会活動）』**を行いました。私が見ていて思ったことは、下級生が日頃お世話になっている上級生を楽しませようと一生懸命な姿に対して、上級生が下級生に寄り添いながら、笑顔で説明を聞き、一緒になって楽しむ姿に、子どもたちの成長を感じました。保護者の皆様にも、オンラインで様子を見ていただけたのもよかったと思います。給食はお祝いメニューで、お赤飯と６年生の希望献立としました。全校で給食を食べながら、お祝いすることができました。

　午後は、**『創立 150 周年記念式典』**を行いました。実行委員長として PTA 会長の谷口様、地域を代表して須津地区まちづくり協議会長の中端様にご出席をいただきました。谷口様からは、150 年前の**『湖頭舎』**の様子を子どもたちに想像させながら、学校で学ぶことがいかに恵まれ、大切であるかお話をいただきました。中端様からは、70 年前に下駄をはいて須津小に登校した時のお話や、「学んだ知識を生かし、仲間を作り、須津を好きになってほしい。」と熱い思いを伝えていただきました。私は２つの話をしました。「１つ目は<u>**自分たちのやったことに自信をもってこれからも頑張ってほしい**</u>ということです。今日のすどっ子カーニバルは、150 周年を記念しての取組と併せて、３年ぶりのすどっ子カーニバルで、みんなで一緒に成功させようという思いがあふれていました。運営委員がお店の作り方をビデオメッセージにしたものや、図書委員が遊びを本で紹介したこと。150 周年をお祝いして、広報委員の思いのこもった掲示物や、音楽委員の校歌の意味を自分たちで考え、みんなで合唱する企画など、とてもすばらしいものだと思います。また、それぞれの学年が 150 年の伝統の重みを受け止めながら教育活動をすすめ、自分たちの取組を見つめ直す機会になったこともよかったと思います。コロナ禍で思うように活動ができない中で、今日のすどっ子カーニバルは大成功だったと思います。この成功は 150 年の歴史の新たな１ページになりました。ここで得た自信を次の活動につなげてほしいと思います。２つ目は<u>**地域への感謝の気持ちをもってほしい**</u>と思います。地域の皆さんは、皆さんのためにと、校外学習のサポートをしてくれたり、授業の見守りやお手伝いをしてくれたりとボランティアで皆さんの成長を支えてくれています。先月の**『須津ふるさとあきまつり』**でも、７月のお祭りを中止にせずに、皆さんに楽しい時間を過ごしてほしいと 10 月に延期してやっていただきました。皆さんはこの地域の皆さんの温かい気持ちをしっかり受け止められる子になってほしいと思います。そして、この須津地区がもっと良い街になるように、自分たちにできることはないか、地域の一員として考えられる子になってほしいと願っています。」このように子どもたちに伝えました。

　全校で久しぶりに校歌を合唱しました。校舎から歌声が響き、150 周年の節目にふさわしい日となりました。これからも、**『地域とともにある学校』**に取り組んでいきます。ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。